

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 29 号

第 29 週 (7月16日 ~ 7月22日)

発行年月日:平成19年(2007年) 7月26日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

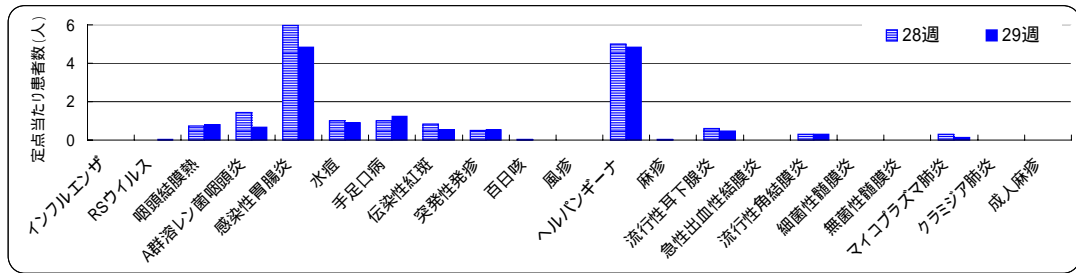
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

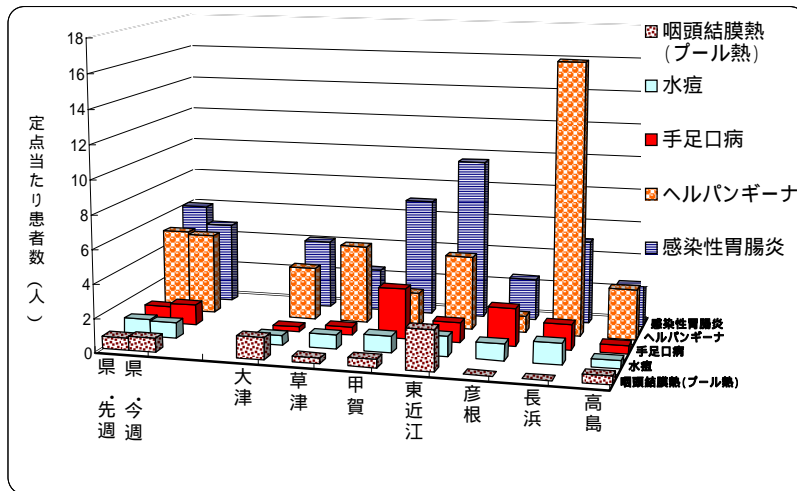
滋賀県における麻しんの発生状況 ヘルパンギーナは長浜保健所管内で多く発生!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数より少なくなっています。今週増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病等で、減少した疾患は感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、咽頭結膜熱(プール熱)は大津、東近江および高島に、伝染性紅斑(リンゴ病)は甲賀に、ヘルパンギーナは長浜に警報が発生しています。全数把握対象疾患では、二類感染症の結核 11名および五類感染症のアメーバ赤痢 1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

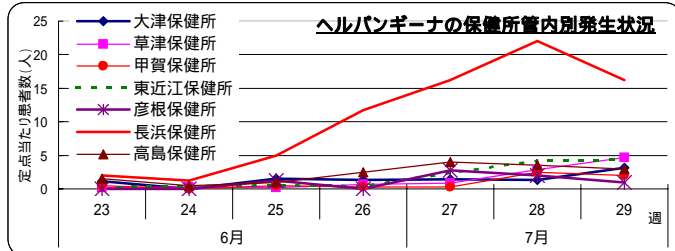


上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第29週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、水痘、咽頭結膜熱(プール熱)の順に多くなっています。ヘルパンギーナは4週連続して長浜で多くなっています。また、手足口病は甲賀および彦根でやや多くなっています。

ヘルパンギーナの保健所管内別発生状況(平成19年第23~29週、H19.6.4~H19.7.22)



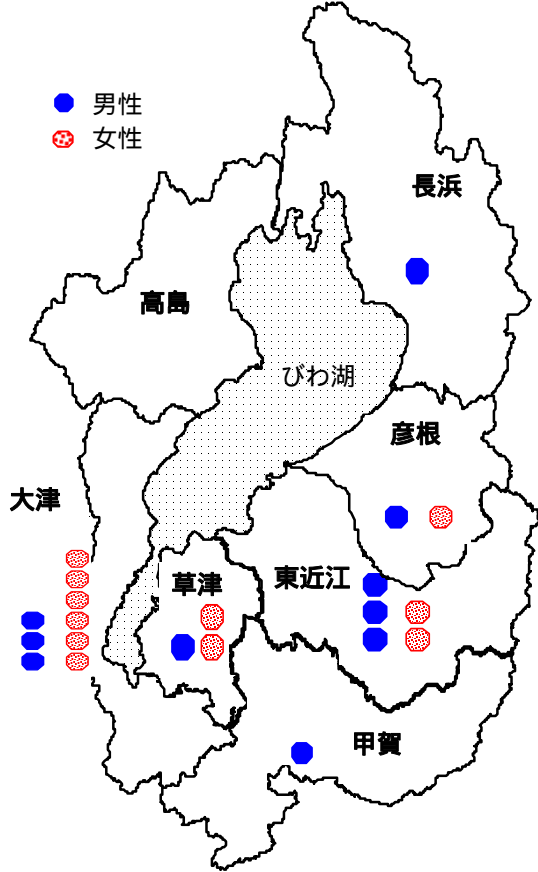
第23~29週の発生状況はグラフに示すとおりで、長浜では先週より減少していますが、定点当たり患者数は非常に多い状態が続いています。また、年齢別発生割合は1歳25.0%、2歳16.1%、3歳15.4%、4歳12.9%、5歳11.0%となっており1~5歳で全体の80.4%を占めています。

滋賀県における麻しんの発生状況

麻しんの流行が全国的に拡大しているため、滋賀県では県内における麻しんの流行を早期に把握することを目的とし全数調査^(*)を平成19年5月23日から実施しています。全数調査に基づき、医療機関から報告された麻しんの発生状況は下記のとおりです。

(*)：滋賀県内の全ての医療機関を対象に実施している調査

1)保健所管内別・性別発生状況(平成19年7月26日現在)



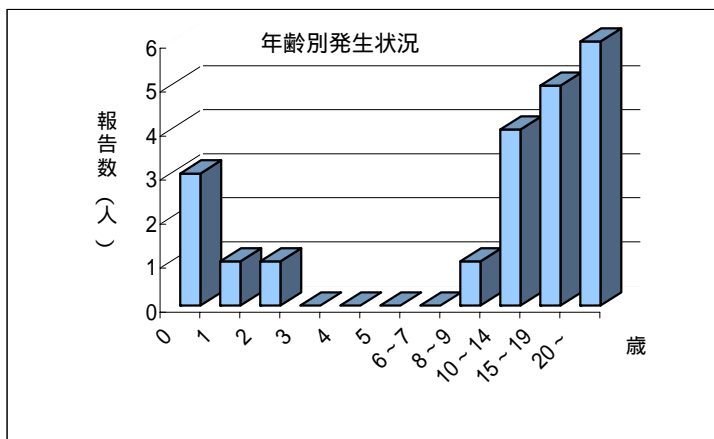
保健所	性別	報告数(人)	
		全数調査 ^{*1}	定点把握調査(再掲) ^{*2}
大津	男性	3	
	女性	6	(2)
草津	男性	1	
	女性	2	(1)
甲賀	男性	1	
	女性		
東近江	男性	3	(2)
	女性	2	(1)
彦根	男性	1	
	女性	1	
長浜	男性	1	
	女性		
高島	男性		
	女性		
計		21	(6)

表中の空白は報告数0人

*1: 調査開始(平成19年5月23日)以前にさかのぼり報告のあった事例を含む。また、定点把握調査による報告数を含む。

*2: 感染症発生動向調査事業に基づき指定されている32の定点(小児科)からの報告。

2)年齢別発生状況(平成19年7月26日現在)



年齢	報告数(人)	
	全数調査	定点把握調査(再掲) ^{*2}
0	3	(2)
1	1	(1)
2	1	(1)
3	0	
4	0	
5	0	
6~7	0	
8~9	1	
10~14	4	(1)
15~19	5	
20~	6	(1)
計	21	(6)

参考

感染症発生動向調査事業に基づく定点把握調査^(*)における発生状況(平成13年~平成18年)

年	H13	H14	H15	H16	H17	H18
患者報告数(人)	169	94	20	10	10	10

(*)：滋賀県内で指定された32の医療機関(小児科定点)を対象に実施している調査

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (29週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (29週)	全国 (29週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	11	85	5,834	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	9	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	277	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	0	17	1,538	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	31	2	70
	A型肝炎	0	0	94	21	316
	デング熱	0	1	37	0	57
	マラリア	0	1	26	0	61
	レジオネラ症	0	6	295	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	1	9	429	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	124	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	89	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	57	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	6	778	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	27	1	87
	梅毒	0	0	354	4	625
	破傷風	0	0	50	1	115
	急性脳炎	0	1	130	1	160

*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分です。

*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第29週(7/16~7/22) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: つつが虫病 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 14例
二類感染症: 結核 204例	日本紅斑熱 2例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
三類感染症: 細菌性赤痢 11例	レジオネラ症 18例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
腸管出血性大腸菌感染症 118例	五類感染症: アメーバ赤痢 6例	ウイルス性肝炎 3例
四類感染症: デング熱 2例	梅毒 9例	急性脳炎 1例
マラリア 1例	破傷風 1例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第24~29週、6/11~7/22)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)					前週と同じ		前週より減少				
	24週	25週	26週	27週	28週	29週	週					
	(6/11~)	(6/18~)	(6/25~)	(7/2~)	(7/9~)	(7/16~)	25	26	27	28	29	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0.06	0	0.03						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.88	1.09	1.03	1.09	0.72	0.81						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	1.34	1.25	0.56	1.44	0.66						
感染性胃腸炎	8.75	8.28	5.44	4.84	5.97	4.84						
水痘	3.16	2.19	2.59	1.16	1.00	0.91						
手足口病	0.25	0.59	0.72	0.84	1.00	1.22						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.88	0.63	0.91	0.78	0.84	0.53						
突発性発しん	0.78	0.84	0.75	0.66	0.50	0.53						
百日咳	0.03	0	0	0.09	0.03	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.31	1.38	2.13	3.50	5.00	4.84						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0.03	0.03	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.28	0.75	0.88	0.34	0.59	0.47						
急性出血性結膜炎	0	0	0.29	0.14	0	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.43	0	0.71	0.29	0.29						
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0.14	0.14	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.29	0.29	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0.14	0	0						

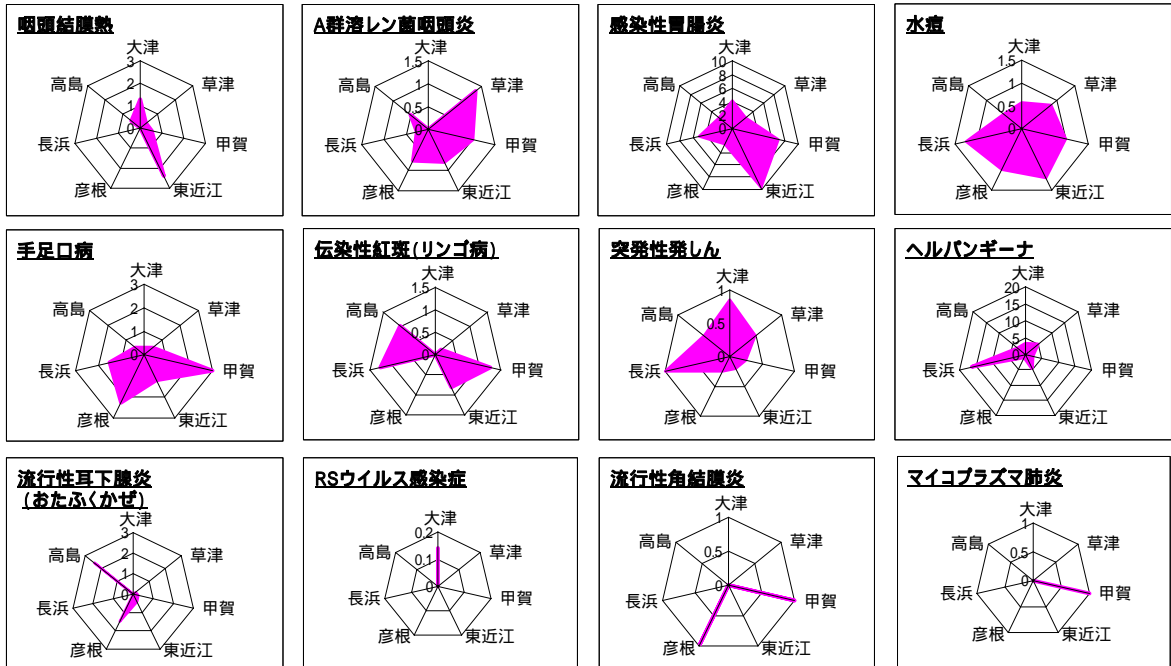
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第29週、7/16～7/22)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.81	1.29	0.33	0.50	2.40	0	0	0.50	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	0	1.33	1.00	0.80	0.75	0.25	0.50	■
感染性胃腸炎	4.84	4.14	2.50	7.00	9.60	2.50	5.00	2.50	■
水痘	0.91	0.57	0.83	1.00	1.20	1.00	1.25	0.50	■
手足口病	1.22	0.29	0.50	3.00	1.20	2.25	1.50	0.50	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.53	0	0.17	1.25	0.80	0	1.25	1.00	■
突発性発しん	0.53	0.86	0.50	0.25	0.20	0.25	1.00	0.50	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	4.84	3.14	4.67	2.00	4.40	1.00	16.25	3.00	■
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0	0.17	0.25	0.40	1.50	0	2.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	1.00	0	1.00	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

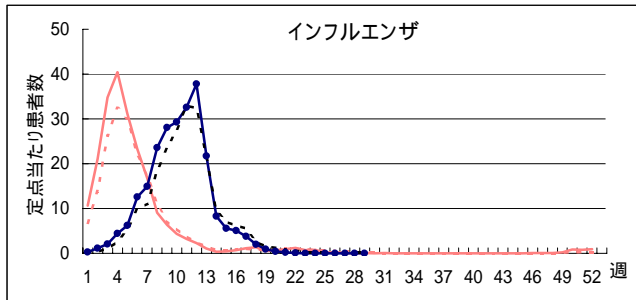
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



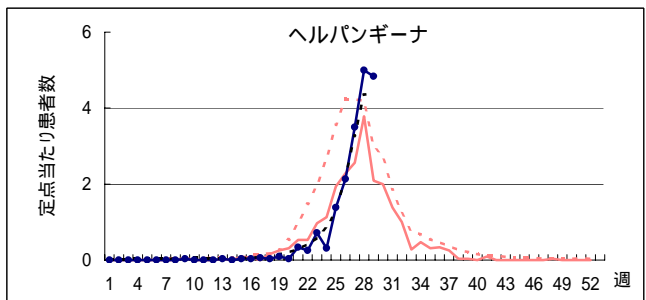
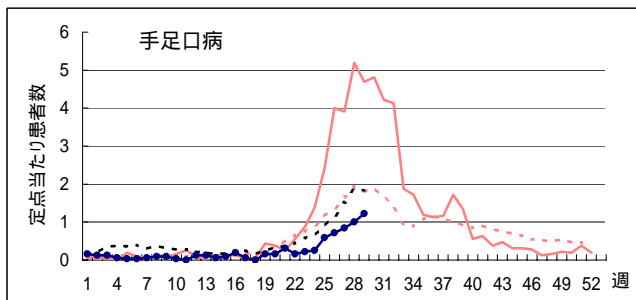
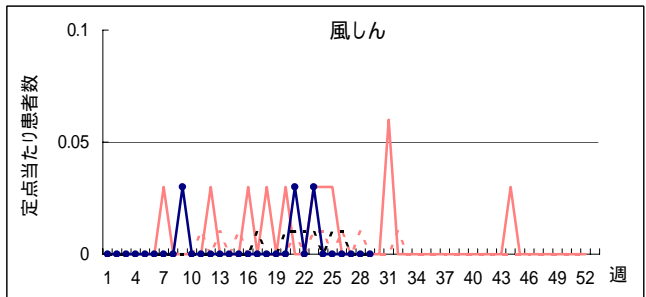
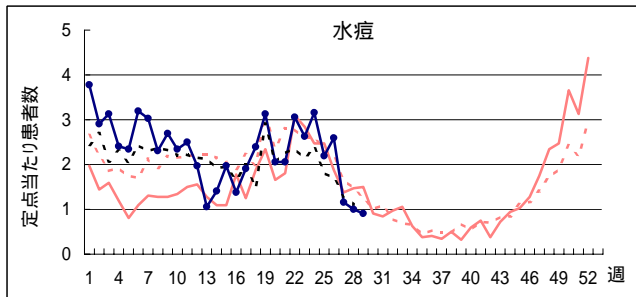
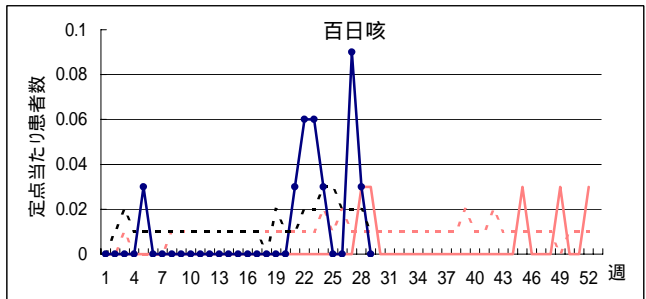
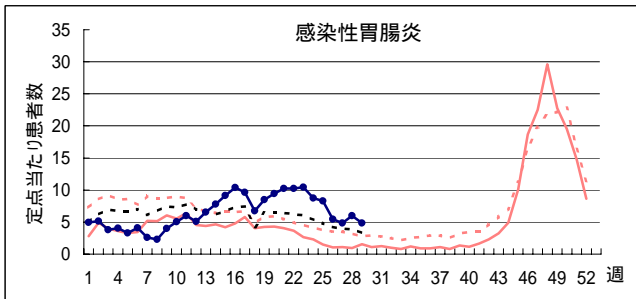
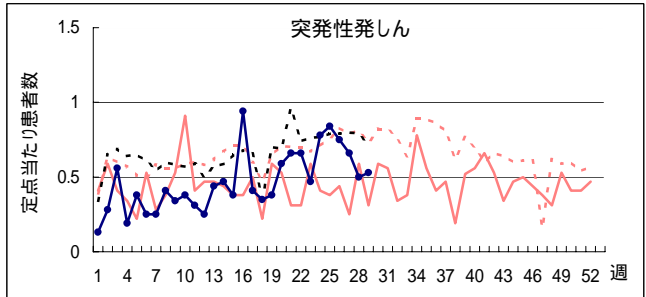
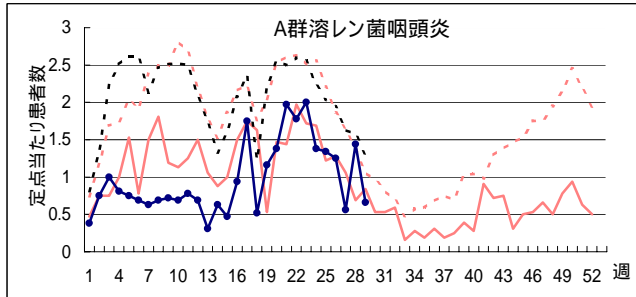
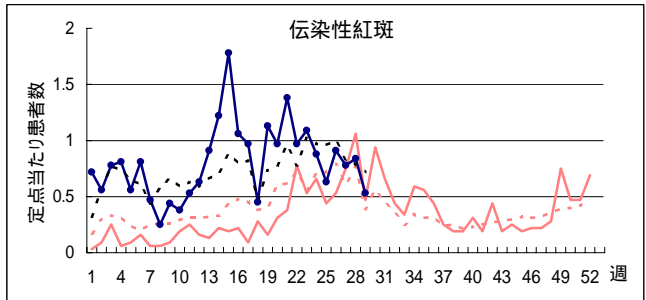
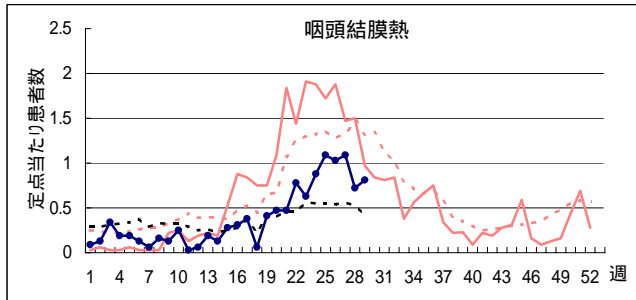
今週の発生状況：

- 咽頭結膜熱-----先週と同様、大津、東近江および高島における定点当たり患者数が警報継続基準値(0.10)を超えているため警報が発生しています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より減少していますが、東近江で増加しています。
- 手足口病-----県全体では増加傾向を示し、特に甲賀で急増しています。また、今週の年齢別発生割合は1歳で全体の33.3%、2歳で全体の20.5%を占めています。
- 伝染性紅斑-----東近江および長浜で先週よりやや増加しています。また、甲賀の定点当たり患者数は先週より減少していますが、継続基準値(1.00)を超えているため連続して警報が発生しています。
- ヘルパンギーナ-----大津、草津および東近江で先週より急増し、長浜でかなり減少しています。長浜の定点当たり患者数は16.25と非常に多くなっており、警報継続基準値(2.00)を超えているため先週に引き続き警報が発生しています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第29週、H19.1.1～H19.7.22)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第29週、H19.1.1～H19.7.22)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—
 全国 - - - - -

